

太秦中だより

令和2年6月2日 京都市立太秦中学校

「新しい生活スタイル」を

身につける日々がスタートします

いよいよ6月1日から学校を再開しました。

待ちに待った学校生活のスタートを実感すると同時に、コロナウィルスの感染防止対策をいかに行うかが問われるスタートでもあります。

教職員の意識向上と実践はもちろんですが、教職員の努力だけでは、子どもたちを守ることはできません。どのように行動すれば、コロナウィルスから自分を守り、周りの大切な人を守ることができるかを知り、そして実践することが必要です

これから1日1日は、コロナウィルスが私たちの周りに存在することを前提にした、コロナと共に存する術(すべ)を身につける日々になります。第2波が来ることを想定しておくことの必要性も言われていますから、これから的生活の中で感染防止が自然とできるように、下の基本を意識して過ごしてください。

- 入り口は、基本常時開放
- ドアの取っ手などみんながさわる場所は、さわる前に手洗い、さわった後も手洗い
- 人との間隔は1~2メートル
話すときは、横や斜めの位置で
- マスクは当然
- 換気は常識
- 朝夕の体温測定、健康チェック
体調がよくないときは無理しない

の6つのポイントを、学校でも大切に過ごしてほしいと思います。

< お知らせ >

太秦中学校いじめ対策委員会メンバー

今枝潤之輔・岩本公作・伊藤太亮・西村祐介
中野健司・浅井真子・須原健太郎・中居里美

< 感染防止の3つの基本 >

- ① 身体的距離の確保
- ② マスクの着用
- ③ 手洗い

□ 人との間隔は、できるだけ2メートル
(最低1メートル) 空ける。

□ 遊びにいくなら屋内より屋外。

□ 会話は、可能な限り真正面を避ける。

□ 外出時、屋内にいるときや会話をするとき
症状がなくてもマスク着用。

□ 家に帰ったまます手や顔を洗う。
できるだけすぐに着替える。

シャワーを浴びる。

□ 手洗いは30秒程度かけて
水と石けんで丁寧に。

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にして相手を守る。

< 日常生活を営む上で の基本的生活様式 >

- まめに手洗い、手指消毒。
- 咳(せき)エチケットの徹底。
- こまめに換気。
- 身体的距離の確保。
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)。
- 朝夕の体温測定、健康チェック。
体調がよくない場合は無理せず自宅療養。

< 移動に関する感染対策 >

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行は控えめに。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

